



あおば 児家センだより



2024年 7月

第11号

児童家庭支援センターあおば
福島市土船字新林24番地 児童養護施設青葉学園内
電話・FAX 024 (597) 8823

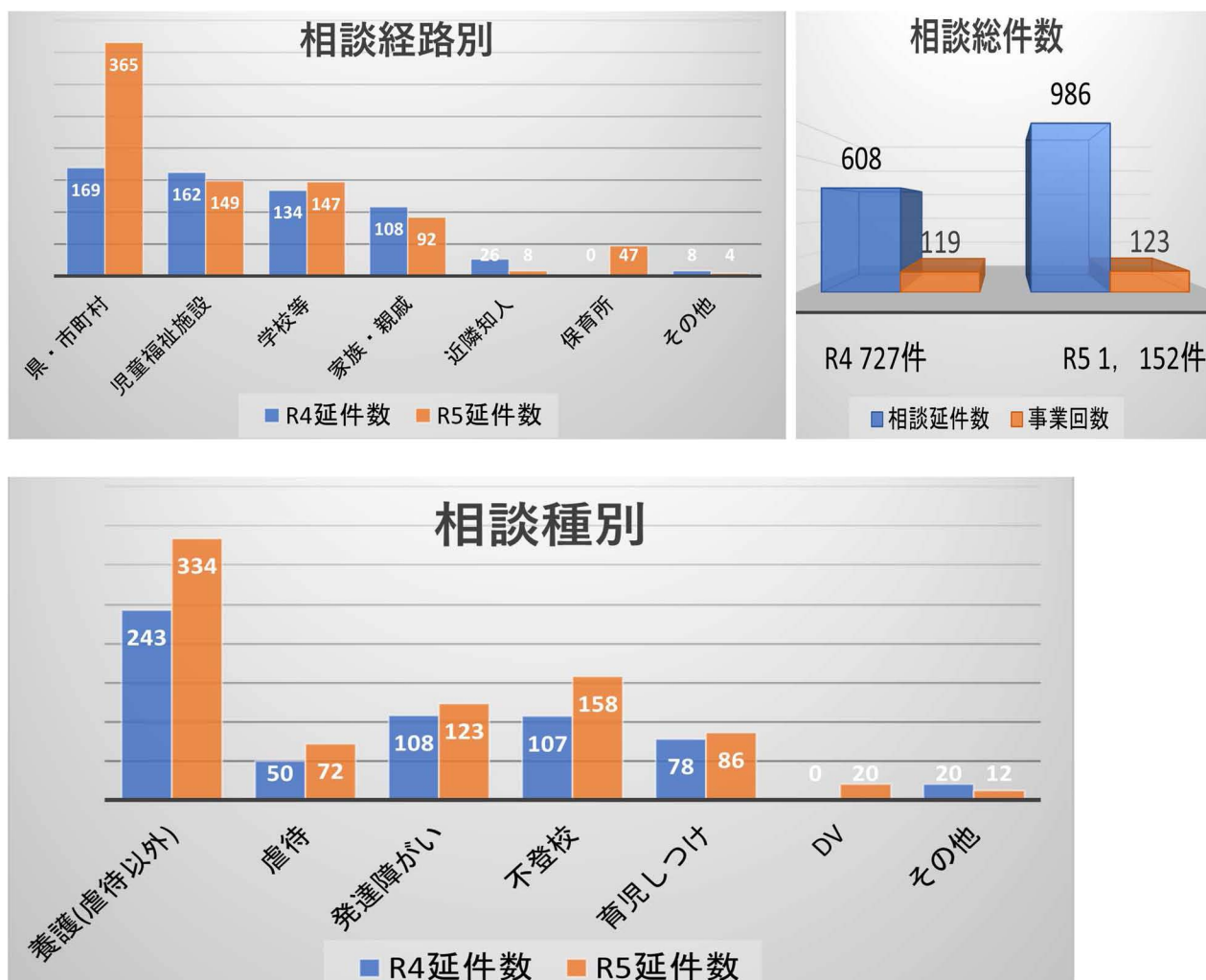


令和5年度 児童家庭支援センターあおばの相談実績

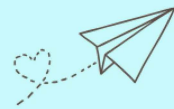
児童家庭支援センターあおばの昨年度の相談や事業の延べ件数は、1,152件でした。相談等の事業実績は下表の通りです。相談経路別では、市町村、児童福祉施設、学校等、家族・親戚からというのが主な経路でした。相談の種別としては、養護（虐待以外）、不登校、発達障がい、育児・しつけ、虐待などの順に相談が多くありました。

昨年度同様市町村からの相談が増え（2.2倍）、次いで児童福祉施設、近隣の小・中学校からの相談が増えてきております。昨年度、相談員に常勤職員が1人で他は非常勤職員でしたが、相談総件数は1.6倍に増加しました。今年度は相談員に常勤職員も増員されたので、今後もさまざまな行政機関、事業所、学校等を訪問して周知活動に努め、相談件数の増加に努めていきたいと思っております。よろしくお願いします。

令和5年度の事業実績



子どもを「ほめる」って難しい…！



子育てをしていると“ほめて子どもを育てましょう”などよく耳にするとおもいます。子どもをほめることが大事なことは知っているし、ほめたいと思っていても、「何てほめたらいいのか分からない」「いうこと聞かなくてほめるところなんてない！」と思ってしまうこともあるのではないのでしょうか。

ここを直せばもっと良くなるのにと“できないこと”に目がいきがちになってしまうこともあるでしょう。毎日があわただしく過ぎる生活の中では「〇〇しなさい！」と叱ってしまうこともあると思います。そして、その時はできても続かず結局また叱ってしまうことに…。

子どもを叱って望ましい行動を増やすこともできます。この時、子どもは悪い結果（叱られること）を避けるためにその行動を繰り返して（増やして）います。これを負の強化と言います。反対に、望ましい行動をしたときにほめるようにすると、良い結果（ほめられること）を得るために、子どもは望ましい行動を繰り返すようになります。これを正の強化と言います。

負の強化では子どもの意欲は育たず、お母さんやお父さんがいない時には望ましい行動をとれないということになりかねないため、ほめる方がずっと効果的ということになります。

一言で「ほめる」と言ってもポイントがいくつかあります。



◎にこやかな表情で、相手の目を見ながらやさしい目線で、朗らかで穏やかな口調で、温かな言葉がけをする

◎ほめるタイミングは子どもが努力しているとき

“努力しているとき”とは、望ましい行動をしているときやしようとしているとき、指示にすぐに従っているとき、自分から自発的にやり始めたとき等です。“望ましい行動”とは、このくらいできて当たり前と思っているけれど、自発的にはやらない行動も含まれます。

◎プロセスをほめる

例：自分で服を着ようとしたとき、「着替え始めたね！」

◎皮肉や比較が入らないように

「片付けできてきれいになったね。いつもこうだといいんだけど」などつつい小言を言いたくなることもあるかもしれませんがそこは飲み込んで、ほめるときはほめるだけにしましょう。

◎10のうち1でもできたらほめる

「服を着替える」という行動は①今着ている服を脱ぐ②脱いだ服を片付ける③シャツを着る④ズボンをはく⑤靴下を履く…などたくさんの工程があります。1つでもできたらほめましょう。



ほめるポイントについて書いてきましたが、もちろん毅然として叱らなければいけない場面もあります。それは、自分や他人を傷つけるような行動をしたときです。その際は、①その場で②シンプルに③低い声で④理由を伝え⑤子どもの行為を叱るようにしましょう。

でも、もし、感情的に怒ってしまったら？その時は子どもに謝って、大人でも失敗したら謝するという手本を見せましょう。かくいう私も、朝の忙しい時間やホルモンの影響を受ける時期などはつい大声で怒ってしまい、「さっきは嫌な言い方してごめん。〇〇って言えばよかったよね。」と子どもに謝ることがあります。子どもと一緒に親も成長していきたいものです。

【参考文献】

『よくわかる発達心理学』林洋一監修（ナツメ社）

『マンガでわかる 魔法のほめ方 PT: 叱らずに子どもを変える最強メソッド』横山 浩之著（小学館）